

Eilers Oral Assessment Guide (OAG)

Eilers口腔アセスメントガイド

監修：東京医科大学病院 歯科口腔外科 主任教授 近津大地 / 札幌市立大学 看護学部 准教授 村松真澄

2011年6月作成 [20150401]

項目	アセスメント の手段	診査方法	状態とスコア		
			1	2	3
声	・ 聴く	・ 患者と会話する	正常	低い / かすれている	会話が困難 / 痛みを伴う
嚥下	・ 観察	・ 嚥下をしてもらう 咽頭反射テストのために舌圧子を舌の奥の方にやさしく当て押し下げる	正常な嚥下	嚥下時に痛みがある / 嚥下が困難	嚥下ができない
口唇	・ 視診 ・ 触診	・ 組織を観察し、 触ってみる	 滑らかで、 ピンク色で、 潤いがある	 乾燥している / ひび割れている	 潰瘍がある / 出血している
舌	・ 視診 ・ 触診	・ 組織に触り、 状態を観察する	 ピンク色で、 潤いがあり、 乳頭が明瞭	 舌苔がある / 乳頭が消失し テカリがある、 発赤を伴うこともある	 水疱がある / ひび割れている
唾液	・ 舌圧子	・ 舌圧子を口腔内に入れ、 舌の中心部分と口腔底に 触れる	 水っぽく サラサラしている	 粘性がある / ネバネバしている	 唾液が見られない (乾燥している)
粘膜	・ 視診	・ 組織の状態を観察する	 ピンク色で、 潤いがある	 発赤がある / 被膜に覆われている (白みがかっている)、 潰瘍はない	 潰瘍があり、 出血を伴うこともある
歯肉	・ 視診 ・ 舌圧子	・ 舌圧子や綿棒の先端で やさしく組織を押し	 ピンク色で、 スティッピングがある (ひきしまっている)	 浮腫があり、 発赤を伴うこともある	 自然出血がある / 押すと出血する
歯と 義歯	・ 視診	・ 歯の状態、または 義歯の接触部分を 観察する	 清潔で、残渣がない	 部分的に 歯垢や残渣がある (歯がある場合、歯間など)	 歯肉辺縁や 義歯接触部全体に 歯垢や残渣がある

口腔ケア プロトコール例

表側のOAGの各項目を1～3点で評価し、それらの合計点によって、口腔ケアプロトコール1～3に分類します。
 こちらのプロトコールは、あくまでも1例です。各施設、疾患、患者さんの状態などに合わせて、適宜変更してご使用ください。

2015年2月改訂

項目	プロトコール 1 スコア… 8 点 正常(今後変化が起こる危険性はある)	プロトコール 2 スコア… 9～12 点 軽度の機能障害	プロトコール 3 スコア… 13 点以上 中度～重度の機能障害
アセスメント	・入院時に1回、その後1日1回	・入院時に1回、その後1日2回	・入院時に1回、その後1日3回
ケアの回数	1日 …………… 6回 粘膜ケア*1(①④) …………… 3回 粘膜ケア*1+歯みがき*2(①②③④) …… 毎食後3回	1日 …………… 7～12回 粘膜ケア*1(①④) …………… 4～9回 粘膜ケア*1+歯みがき*2(①②③④) …… 毎食後3回	1日 …………… 12回 粘膜ケア*1(①④) …………… 10～11回 粘膜ケア*1+歯みがき*2(①②③④) …… 1～2回
ケア方法	① 水、またはマウスウォッシュで30秒間うがい。または、マウスウォッシュをつけたスポンジブラシで、口腔粘膜を保湿しながら清掃。 ② やわらかい歯ブラシにトゥースペーストをつけ、歯みがき。 ③ 水、またはマウスウォッシュでうがい。または、スポンジブラシで口腔内全体を清拭。 ④ 口唇と口腔内全体にマウスジェルを薄く塗布。(特に就寝前)	① マウスウォッシュで30秒間うがい。または、マウスウォッシュをつけたスポンジブラシで、口腔粘膜を保湿しながら清掃。 ② やわらかい歯ブラシにトゥースペーストをつけ、歯みがき。または、マウスウォッシュをつけたスポンジブラシで歯みがき。 ③ 水、またはマウスウォッシュでうがい。または、スポンジブラシで口腔内全体を清拭。 ④ 口唇と口腔内全体にマウスジェルを薄く塗布。(1日数回。口腔ケア後、または必要時に。)	① マウスウォッシュで30秒間うがい。または、マウスウォッシュをつけたスポンジブラシで、口腔粘膜を保湿しながら清掃。 ② マウスウォッシュをつけたスポンジブラシ、またはやわらかい歯ブラシで、歯みがき。 ③ 水、またはマウスウォッシュでうがい。または、スポンジブラシで口腔内全体を清拭。 ④ 口唇と口腔内全体にマウスジェルを薄く塗布。(1～2時間毎。口腔ケア後、または必要時に。)
義歯のケア	・毎食後、義歯を取り外し清掃。	・毎食後、義歯を取り外し清掃。 ・義歯を装着する際は、義歯全体にもマウスジェルを薄く塗布。 ・炎症がある場合は、義歯を外しておく。	・できる限り義歯を外しておく。 ・義歯を装着する際は、義歯全体にもマウスジェルを薄く塗布。
注意事項	・マウスウォッシュがしみる場合には、水または生理食塩水で1対1くらいに薄めて使用してください。 ・粘膜炎により痛みがある場合には、歯ブラシやスポンジブラシが粘膜炎に触れないように注意しましょう。 ・痛みや出血がある場合には、無理をしないようにしましょう。 ・誤嚥の危険性がある場合には、吸引器、または吸引付きスポンジブラシや吸引付き歯ブラシの使用をおすすめします。		

*1 粘膜ケア：うがい、またはスポンジブラシによる清拭を行い、口腔粘膜上の食物残渣や細菌を除去すると同時に潤いを保つこと。

*2 歯みがき：歯や歯ぐきをブラッシングして、食物残渣やプラーク(歯垢)を除去すること。